

ご あ い さ つ

令和4年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様へ情報を提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。

令和4年度を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症に対応する「新しい生活様式」が定着するとともに、市民活動においても徐々に復調の兆しが見られた年でありました。

そのような中、本県では42年ぶりとなる第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」及び第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」が10月に開催され、市内各地の会場に市内外から多くのお客様をお迎えしました。さらに、11月には本市最大のイベント「とちぎ秋まつり」を4年ぶりに開催し、蔵の街大通りを中心に絢爛豪華な江戸型人形山車が市内を彩りました。いずれも、関係者の皆様をはじめ、市民の皆様のご協力により盛況を収めることができましたことに、心より感謝申し上げます。

また、4月に県内初の公立文学館として「栃木市立文学館」を、11月には「栃木市立美術館」を相次いで開館し、芸術・文化の醸成を図るとともに、新消防庁舎の整備や雨水・浸水対策として河川整備工事を着実に進め、市民の皆様が安全で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいりました。加えて、こども医療費助成の対象年齢の拡大や伴走型相談支援及び出産・子育て応援ギフト支給事業の実施など、子育て支援の充実に努めてまいりました。

今後におきましては、令和5年3月に策定した第2次栃木市総合計画に掲げる将来都市像「豊かな自然と共生し優しさと強さが調和した活力あふれる栃木市」の実現を目指して、各種施策の推進を図ってまいりますので、市議会をはじめ、皆様の温かいご理解と更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和5年8月

栃木市長 大川 秀子

